

**公益財団法人秋田県育英会**  
**奨学生募集**  
 (令和7年4月に専修学校専門課程1年へ進学された方)



秋田県育英会の奨学金は、全て貸与型（無利息）です。

**募集期間**

**令和7年5月7日(水)**  
 ~  
**令和7年5月26日(月)**

**※本会必着**

**◆募集人数及び貸与額等**

奨学金の種類	募集人数	貸与額	所得制限	その他
専修学校月額奨学金	10名程度	月額5万円	あり	他団体の貸与型月額奨学金との併用不可。

※他団体の給付型奨学金及び授業料減免と併用可。

**◆貸与期間**

入学した学校の正規の最短修業年限

**◆応募資格**

- ①秋田県出身者であること。※詳しくは【別添】補足説明Ⅰ応募資格についての説明①を参照
- ②令和7年4月に、学校教育法に定める専修学校専門課程（ただし、大学進学を目的とした課程（いわゆる予備校）及び通信制は対象外）に入学し、1年に在籍していること。  
 ※詳しくは【別添】補足説明Ⅰ応募資格についての説明②を参照
- ③高校卒業後3年以内の者、高卒認定者は中学校卒業後6年以内の者であること。
- ④学資の支弁が困難と認められること。

申込み可能な世帯収入例（父母が給与収入のみ、本人が私立・自宅外通学の場合）

世帯人員	収入例1		収入例2	
	父	母	父	母
3人（父、母、本人）	855万円	65万円	613万円	300万円
4人（父、母、本人、大学生の兄（私立・自宅外））	1035万円	65万円	843万円	300万円
5人（父、母、本人、大学生の兄（私立・自宅外）、中学生の妹）	1081万円	65万円	889万円	300万円

（父母の特別控除後の認定所得金額合計が300万円以下であること）

認定所得金額は税法上の所得とは異なります。詳しくは【別添】補足説明Ⅰ応募資格についての説明「③所得の算出方法について」を参照、または本会事務局へ問い合わせてください。

## ◆選考結果通知

令和7年6月下旬（予定） 応募者全員に、採用の可否を文書で通知します。

## ◆貸与方法

隔月に2ヶ月分ずつ秋田銀行の奨学生本人名義の預金口座へ振り込みます。  
ただし、初回のみ7月31日（木）に4月分～7月分をまとめて振り込みします。

## ◆奨学金の併用について

併用できるものとできないものがあります。（下記参照）  
なお、併用できないものについても同時に申込みをして、採用後にどちらか選択することは可能です。

	日本学生支援機構等、 他団体の月額奨学金（貸与型）	給付型奨学金、授業料減免	専修学校入学一時金
専修学校月額奨学金	×	○	○

## ◆返還について

本会の奨学金は、貸与を受けた全額を返還する必要があります。

返還は、貸与期間終了後、6ヵ月間の据え置き期間経過後から始まります。  
原則として、奨学金を貸与していた口座と同じ口座からの振替により返還していただきます。

奨学金の種類	返還期間	返還方法	1回の返還額
専修学校月額奨学金	貸与年数の3倍の期間	月賦・半年賦・年賦 から選択	月賦 : 16,660円 (初回のみ端数分上乘せ) 半年賦 : 10万円 年賦 : 20万円

無利息です。ただし、正当な理由がなく、最終返還期間が過ぎても返還されなかった額については、年率5%の延滞利息が課せられます。

### ※ 必ずご覧ください ※

本会の奨学金制度の利用には、連帯保証人と保証人が必要です。

連帯保証人と保証人には、借用証書（貸与終了時作成）に印鑑登録証明書等を添付していただきます。

#### ☆連帯保証人について

申込から返還終了まで、連帯保証人が必要となります。連帯保証人は、保護者等（申込者が未成年者の場合は、民法818条で規定する親権者または後見人、成年者の場合は父母等またはこれに代わる者）としてください。

#### ☆保証人について

返還書類（借用証書）作成時に、保証人が必要となります。保証人とは、申込者及び連帯保証人とは別生計で、原則65歳以下の者（未成年者不可）とします。

例) 申込者の叔父・叔母にあたる方、申込者の兄姉で独立して生計を営んでいる方 等

（申込の段階では保証人は必要ありませんが、事前に見通しを立てておいてください。）

## ◆提出書類について

申込時には、次の書類を提出してください。書類の提出は、郵送でも持参でも構いません。

<p>①貸与申込書</p>	<p>募集要項に添付の「第1号様式」          秋田県育英会 検索          本会ホームページからもダウンロード可。</p>
<p>②住民票</p> <p>※本籍、続柄が記載されているもの          マイナンバーの記載がないもの</p>	<p>申込者及び家族(同一生計の方)全員の住民票が必要です。          (ただし、兄弟姉妹で高校生以上の学生(含予備校)の分はなくても可。)</p> <p>単身赴任等で別に暮らしているが同一生計の場合は、その方の住民票も必要です。</p> <p>住民票に別生計者が記載されている場合(祖父母と同居はしているが別生計の場合等)は、氏名の横に「別生計」と記入してください。</p>
<p>③在学証明書          (申込者本人の分)</p>	<p>募集要項に添付の「第2号様式」          在籍する学校に提出の上、証明を受けてください。</p>
<p>④就学者の兄弟姉妹の在学証明書または学生証の写し</p>	<p>家族(同一生計の方)の中で、学生(高校生以上、含予備校)の兄弟姉妹の在学証明書または学生証の写しが必要です。在学証明書を提出する場合は、必ず原本を提出してください。</p>
<p>⑤令和6年中の収入(所得)金額が分かる書類</p> <p>※市町村から発行される所得証明書は不可</p>	<p>収入(所得)に関する書類は、次の例に従って提出してください。</p> <p>ア) 給料所得者(含パート・アルバイト)、年金受給者          「令和6年分源泉徴収票の写し」</p> <p>イ) 自営業・その他          「令和6年分確定申告書(第一表及び第二表)の写し」、または「令和7年度市民税・県民税申告書の写し」</p> <p>ウ) 収入のない方          (a) 令和6年1月以降、退職・解雇等により収入がなくなった場合          「退職日が記載されている源泉徴収票の写し」、「離職票の写し」、または「雇用保険受給資格者証の写し」          (b) 令和6年1月以前より今現在にかけて無職(無収入)の場合          「令和7年度市民税・県民税申告書の写し」等、収入が0であることが分かる書類</p> <p>エ) 令和6年1月から今現在に就職・転職・開業された方          別紙1「収入等見込額調書」を提出してください。          就職・転職・開業した月から1年間分の収入(所得)実績額または見込額が必要です。</p> <p>収入(所得)に関する書類の提出が必要となる方は、次のとおりです。</p> <p>I) 両親がいる世帯→父と母両方の収入(所得)金額が分かる書類          II) 母子または父子世帯→母または父の収入(所得)金額が分かる書類          III) 父母に代わる方が生計維持者の場合→その方の収入(所得)金額が分かる書類</p>
<p>⑥特別な家庭事情にかかる書類</p>	<p>必要書類を提出することで、収入の特別控除を受けることができます。</p> <p>ア) 障害のある方がいる世帯          障害者手帳、療育手帳の写し</p> <p>イ) 長期療養中で医療費控除を申告している人がいる世帯          令和6年分確定申告書控え(医療費控除の明細書)の写し          実際に医療機関に支払った金額が必要です。領収書は不可。</p> <p>ウ) 両親いずれかが単身赴任している世帯          (a) 単身先の1ヵ月の家賃が分かるものの写し(アパートの賃貸契約書、給与から天引きされている場合は給与明細書等)          (b) 別居住であることが分かるものの写し(光熱費や公共料金の納付書等、住所の記載があるもの)</p> <p>エ) 災害、風水害、盗難等の被害を受けた世帯          罹災・被災証明書、令和6年中の被害額が分かるものの写し、盗難届出証明書の写し等          保険等で補填された場合はその額が分かるものの写し</p>
<p>⑦成績に関する書類</p>	<p>調査書(卒業した高校から発行されるもの)【開封厳禁】          高卒認定の方→合格成績証明書(高校で取得した単位がある場合は、成績証明書も必要)</p>

## ◆注意事項

- (1) 不明な点がある場合はその他書類の提出を求めることがあります。
- (2) 提出書類は、採用の可否を決定する重要な書類ですから、漏れのないよう正確に記載してください。
- (3) 添付書類の不足や記入不備の場合、選考から除外することがありますので注意してください。
- (4) 提出書類は、採用の可否にかかわらず返却しませんので、ご了承ください。
- (5) 採用の可否についての電話による直接のお問い合わせにはお答えいたしかねます。

## ◆その他

- ①本会の専修学校月額奨学金は、秋田県内就職者向けの奨学金返還助成制度の対象となっております。詳しくは、秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課のホームページまたは秋田県就活情報サイト「Kocchake!」の特設ページをご覧ください。

返還助成に関する問い合わせ先 あきた未来創造部移住・定住促進課

TEL 018-860-3751

<https://kocchake.com/pages/p4957/>

こっちゃけ

検索



- ②本会の専修学校月額奨学金は、令和10年3月31日までの間、「特定の学資としての資金の貸付けに係る消費貸借契約書の印紙税の非課税措置」の制度が適用になります。

## ◆申込、問い合わせ先

### 公益財団法人 秋田県育英会

〒010-0951 秋田市山王四丁目1-2 秋田地方総合庁舎 5階

TEL 018-860-3552

FAX 018-860-3555

Mail postmaster@akita-ikuei.jp

URL <http://www.akita-ikuei.jp>

申込書と提出された個人に関する情報については、この奨学金の審査及び貸与業務（返還業務を含む）目的以外には使用しません。